#### 京都府中期的な医療費の推移に関する見通し(第3期) 進捗状況の調査・分析

## 1. 目標に関する評価

- (1) 住民の健康の保持の推進に関する目標
- ① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

2017 年度	第3期計画期間					
2017 平度   (計画の足下値)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
(計画の)足(計画)	2010 平皮	2019	2020 平皮	2021 平皮	2022 平皮	(目標値)
50.6%	51.9%	53.5%	50.8%	53.7%		70%
目標達成に	53.8%	57.1%	60.20/	63.5%	66.8%	70%
必要な数値	33.6%	37.1%	60.3%	63.5%	00.6%	70%
第3期の取組	・健康長寿・データヘルス推進事業 (受診勧奨方法・資材の普及 等)の実施					
第4期に向けた	・コロナの影響等	・コロナの影響等により伸び悩んでいた実施率については、コロナ前の状況に回復しつつあるが、目標値との				
課題	乖離も大きく、全国平均と比較しても低い状況にある。					
第4期に向けた	・働き盛り層や健康無関心層に対して、ヘルスリテラシーを高める取り組みの推進					
改善点	・脚で盆り眉や触	派無因心間に対し	こ、ハルベリテフ	ノーで同める取り社	10プリカ北连	

出典:特定健診・特定保健指導に関するデータ(厚生労働省)

## ② 特定保健指導の実施率に関する数値目標

2017 年度	第3期計画期間						
2017 平度   (計画の足下値)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
(ITEL SOCIETIE)	2010 平及	2017 中汉	2020 192	2021 -	2022 - 192	(目標値)	
18.1%	22.7%	23.5%	23.4%	26.0%		45%	
目標達成に	22.60/	27.10/	21.60/	36.00/	40 50/	450/	
必要な数値	22.6%	27.1%	31.6%	36.0%	40.5%	45%	
第3期の取組	・特定保健指導従事者研修の実施						
第4期に向けた	. コロナの影郷笠	フロナの影響なにより使びがしまいも実体をについては、小しひ若しもが、口種はよる毛強がしまい。					
課題	・コロナの影響等により伸び悩んでいた実施率については、少し改善したが、目標値との乖離が大きい。						
第4期に向けた	・上記取り組みの継続実施。						
改善点	・工品以り組みの	<b>哑机天</b> 肥。					

出典:特定健診・特定保健指導に関するデータ(厚生労働省)

#### ③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合に関する数値目標

2017 年度	第3期計画期間						
2017 平度   (計画の足下値)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
(計画の足下間)	2010 平皮	2019 平皮	2020 平皮	2021 平皮	2022 千皮	(目標値)	
25.8%	26.1%	26.5%	27.6%	27.0%		24%	
目標達成に	25.5%	25.2%	24.9%	24.6%	24.3%	24%	
必要な数値	25.5%	25.2%	24.9%	24.0%	24.3%	24%	
第3期の取組	・健康情報の府民	・健康情報の府民への提供、健康データの分析及び保健所等による市町村への伴走支援の実施					
第 3 朔UJ 取祖	・働き盛り層や健康無関心層への運動の普及や企業と連携した食環境整備						
第4期に向けた							
課題	・第3期計画期間中は横ばいの状況で改善が見られず。						
第4期に向けた	・民間企業と連携した働き盛り層や健康無関心層への健康づくりのアプローチ。						
改善点	. 以即正未C连汤	いに関で置り眉い	还/水栅区/心间、707	せか ノヘ・ソウア ノ L	J ,		

出典:特定健診・特定保健指導に関するデータ(厚生労働省)

#### ④ 喫煙率に関する数値目標

2017 年度	第3期計画期間					
2017 平度   (計画の足下値)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
(計画の)(計画)	2010 平皮	2019 年皮	2020 平皮	2021 中皮	2022 平及	(目標値)
17.8%		_	_	_		12%
(2016年)	_	_	_	-		12 /0
目標達成に	16.8%	15.9%	14.9%	13.9%	13.0%	12%
必要な数値	10.870	13.970	14.970	13.970	13.070	1270
	・NPO 京都禁煙拍	・NPO 京都禁煙推進研究会等共催で、禁煙外来講習会を開催				
   第3期の取組	・「世界禁煙デー」	・「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」にあたり、禁煙啓発普及用ポスターを幅広く配布した。 ・女性向け禁煙 支援リーフレット 等禁煙を啓発する資料を作成し、 各種団体や市町村窓口等を通じて配布				
第 3 朔UJ 取祖	・女性向け禁煙					口等を通じて配布
	した。					
第4期に向けた	・禁煙治療をさらに普及し、たばこをやめたい方がやめやすい環境をつくる必要がある。					
課題	・赤圧山原ででり	に自及し、たはこ	( 1987) CC 177/J. 1-0	クロタの境境で フト	、 る必 <del>女</del> かめる。	
第4期に向けた	・NPO等と協力し、禁煙支援に関わる従事者を対象に定期的に研修会を開催して、人材育成に努める。					
改善点	・がん拠点病院等	や関係団体に対し	、禁煙治療や禁煙技	指導の実施を働きか	いける。	

出典:京都府民健康・栄養調査(京都府)

## ⑤ 受動喫煙の機会を有する者の割合に関する数値目標

2017 年度	第3期計画期間					
(計画の足下値)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (目標値)
10.2% (行政機関)	-	-	-	-		0 %
5.5% (医療機関)	-	-	-	-		0 %
31.6% (職場)	-	-	-	-		受動喫煙のない職 場の実現を目指す
10.3% (家庭)	-	-	-	-		3%
45.5% (飲食店)	-	-	-	-		15%
目標達成に 必要な数値						
行政機関	8.5%	6.8%	5.1%	3.4%	1.7%	0 %
医療機関	4.6%	3.7%	2.8%	1.8%	0.9%	0 %
職場	-	-	-	-	-	受動喫煙のない職 場の実現を目指す

家庭	9.1%	7.9%	6.7%	5.4%	4.2%	3%
飲食店	40.4%	35.3%	30.3%	25.2%	20.1%	15%
	・2020年4月に	全面施行の改正健康	東増進法についてオ	<b>パスター、ちらし、</b>	事業者向けパンフロ	ノットを配布。
	・保健所で飲食店	等に対して改正法	に係る指導や相談な	を実施し、「望まな	い受動喫煙」の防止	上対策の推進を
第3期の取組	図った。					
	・京都受動喫煙防止対策事業者連絡協議会(構成団体:京都府飲食業生活衛生同業組合や京都府旅館ホテル生					
	活衛生同業組合等)と連携し、改正法の周知のため新聞に公告を掲載した。					
第4期に向けた	・受動喫煙の機会を有する者の割合が高い飲食店、職場等において受動喫煙防止対策のさらなる徹底を図る必					
課題	要がある。					
第4期に向けた	。古郑府受動物性	が 上 実 音 や こ み 正	健康増進法についる	て即係料関レ連性!	国知政祭を行って	1)/
改善点	* 不即的文勤实在	例正思早12、以正	医泳珀進法に 少い	(民)が成民(と)生活し	川川公古代で11 ノ (	V 1 \ 0

出典:京都府民健康・栄養調査(京都府)

## ⑥ 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数に関する数値目標

2017 年度		第3期計画期間				
(計画の足下値)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
						(目標値)
282 人	304 人	300 人	292 人	269 人		270 人
目標達成に	200	270	276	274	272	270
必要な数値	280 人	278 人	276 人	274 人	272 人	270 人
	・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の改訂					
第3期の取組	・糖尿病治療中断者抽出ツールの作成 ・ICTを活用した京都府版糖尿病保健指導モデルの構築 ・腎機能予測ツール「京都府版 eGFR プロットシート」の作成					
分りがりがは						
第4期に向けた						
課題	・ハイリスク者対策の推進、多職種連携による保健指導の充実					
第4期に向けた	・ハイリスク者対策を行う市町村の増加するような働きかけや多職種ミーティング等を通じて保健指導の質の					
改善点	充実を図る。					

出典:わが国の慢性透析療法の現状(日本透析医学会)

#### (2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

#### ① 後発医薬品の使用促進に関する数値目標

2017 年度		第3期計画期間						
2017 <del>中</del>	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度		
(計画05)是十個/	2010 平皮	2019 平皮	2020 平皮	2021 平皮	2022 平皮	(目標値)		
67.4%	73.2%	77.0%	79.2%	79.6%	80.6%	80.0%		
(66.8%)	(71.9%)	(74.6%)	(76.1%)	(75.8%)	※ 12 月時点			
目標達成に	69.5%	71.6%	73.7%	75.8%	77.9%	80.0%		
必要な数値	09.5%	71.0%	73.7%	75.8%	77.9%	80.0%		
第3期の取組	・後発医薬品安心	・後発医薬品安心使用促進事業の実施(使用促進対策事業により後発医薬品に係る理解促進のための環境整備						
デ 5 州VJ4X社	を進め、重点地域使用促進強化事業により地域の課題調査・分析からモデル事業を実施。)							
第4期に向けた	・後発医薬品の使	・後発医薬品の使用促進に関する目標は達成しており、後発医薬品の普及を前提とした国の新たな目標等を踏						
課題	まえて、更なる医療の効率的な提供を推進する必要がある。							
第4期に向けた	. 国の検討を吸す	ラつつ 関係団体	との音目交換合め	出れば応用の取织学	での情報を収集し進	<b>カ</b> ブロノ		
改善点	・国の快引で始ま	えつつ、関係団体	この思兄又揆云 17	ピ 甲 垣 内 宗 ツ 玖 祖 寺	FVJI月報で以来し進	ω) ( ( 1 \		

出典:調剤医療費(電算処理分)の動向(厚生労働省)

※ () 内の値は参考値 (NDB データセット (厚生労働省))

## ② 服薬情報の一元的・継続的管理の推進に関する目標

目標	服薬情報の一元的・継続的管理の推進
	・患者のための薬局ビジョン推進事業及び認定薬局整備促進事業により、薬剤師会とともにかかりつけ薬剤師・
第3期の取組	薬局、健康サポート薬局及び地域連携薬局の周知・啓発、機能強化等のためのモデル事業並びに各薬局の認
	定等取得推進を実施。
第4期に向けた	・地域連携薬局及び健康サポート薬局の更なる推進並びに患者等への普及が必要。
毎年期に回りた     課題	・患者、薬局ごとに服薬情報等の管理方法等が異なるため、継続的な情報の管理や情報共有が困難な場合が
<b>示</b> 起	ある。
	・地域連携薬局や健康サポート薬局の普及を促進する。また、薬局の存在や役割を改めて広く周知啓発する。
第4期に向けた	・かかりつけ医をはじめとする多職種と連携しながら技能を発揮する薬剤師・薬局の養成を推進する。
改善点	・患者、家族、医療従事者等が服薬情報・薬局等を適切に把握・管理できるよう、電子お薬手帳、オンライン
	資格確認、マイナポータル等の情報システムについて、患者等へ周知・啓発する。

# 2. 保険者等、医療機関その他の関係者の連携及び協力に関する評価

第3期の取組	京都府医療保険者協議会に参画し、保険者が共同して実施する取組に対する情報共有や支援を推進した。
第4期に向けた	引き続き京都府医療保険者協議会に参画し、保険者が共同して実施する取組に対する情報共有や支援を推進す
改善点	るとともに、都道府県計画への関りを支援していく。